

# 市制施行 60 周年記念事業

問合せ

【講演会について】市史編さん室 ☎ (042) 571-7815  
【60ショートフェスタについて】学校指導課 ☎ (042) 573-4372

## 市史編さん記念歴史講演会

市史編さん室では、生活に親しみのあるテーマを切り口とした2つの講演会を開催します。楽しみながら歴史を学ぶためのヒントを探しに来ませんか？小中高生の皆さんもぜひご参加ください。親子での参加も可能です。

### ①名字のルーツに見る日本人のくらしと文化

日時：令和6年12月7日（土）午後2時～4時  
会場：リオンホール  
講師：森岡 浩<sup>もりおか ひろし</sup>さん（NHK「日本人のおなまえ」等出演）  
内容：身近な「名字」のルーツを探りながら、歴史を学ぶことの魅力を感じてもらいます。



### ②国分寺市のことをもっと知ろう～歴史と民俗から～

日時：令和7年1月13日（祝）午後2時～4時  
会場：いずみホール Aホール  
講師：新谷 尚紀<sup>しんたに たかのり</sup>さん（NHK「チコちゃんに叱られる！」等出演）  
内容：国分寺の地域の歴史と、そこに暮らした人々の慣習や生活の中から、皆さんが住んでいる地域の特色や暮らしのルーツを探ります。



## 国分寺 60 ショート動画フェスタ

市制施行 60 周年を記念し、市内小・中学生が国分寺の魅力をもつ 60 秒のショート動画を制作しました。15 校の市内小・中学校で、各校一つずつ動画を制作しており、フェスタ期間中には1人1台端末で動画を視聴し、コメントを寄せ合いました。人と人とのつながりを実感し、ふるさと国分寺への愛着を深める機会となりました。



教育委員会では、各校の動画を基に、ダイジェスト動画を制作し、ホームページに掲載しました。保護者、地域の皆様にも視聴いただき、緑と歴史のまち、人と人がつながり、学びが循環するまち、子どもたちが見つけた「国分寺の魅力」を共有しましょう。

◆視聴方法  
右記の二次元コードを読み取り、ご視聴ください。



## 国分寺市の文化財

市重要有形文化財（建造物）国分寺仁王門 昭和 39 年 1 月 15 日指定

問合せ

ふるさと文化財課 ☎ (042) 300-0073

国分寺薬師堂へ向かい、国分寺崖線<sup>がいせん</sup>を登る参道の途中に、国分寺仁王門<sup>こくぶんじにおうもん</sup>があります。宝暦年間（1751～1764 年）に建造された、間口約 7.8 m、奥行き約 4.5m の三間一戸八脚門で、屋根は入母屋造、棧瓦葺です。

江戸時代の地誌『新編武蔵風土記稿』には、「此の門近世までの薬師堂なりしを再興の時きりちちめて仁王門になせり」と記され、仁王門の一部には、建武2年（1335 年）に新田義貞の寄進により再興された薬師堂の古材が使用されていると伝えられています。伝承<sup>でんしょう</sup>を裏付けるように、8本の柱には元の建物のほぞ穴<sup>ほぞあな</sup>が残り、風食<sup>ふうしょく</sup>を受けていますが、太く力強い姿をしています。

また、門の左右には、高さ約 2.5m で作者は不明ですが、阿形像<sup>あぎようぞう</sup>（向かって写真右、口を開いている）・吽形像<sup>うんぎようぞう</sup>（向かって写真左、口を閉じている）の二体の仁王像が安置され、胎内<sup>たいない</sup>（仏像の内部）の木札から、享保3年（1718 年）に造立されたことが分かっています。

大正時代の古写真では、仁王門は寄棟造<sup>よせむねづくり</sup>で茅葺屋根<sup>かやぶき</sup>でした。いつしか屋根の形状と素材が変えられて、現在の姿に至っています。

